



あ、自分にもできる（親近感）活動があるかもしれない（興味・関心）参加してみよう（行動）
そんな会員向け通信を目指しています。

地域デザイン通信に寄せて ～地域の未来に活かせ、DFの経営資源

地域デザイン総合研究所会長 平尾光司（1190）

地域デザイン本部が発足して約半年がたった。DF 会員の中でも地域デザインはまだなじみが薄くまだ認知度が低いように思われる。

デザインという言葉は建築デザイン、ファッションデザインなどを連想させ地域との結びつきの理解が難しいことによるのではなかろうか。しかし、デザインの本来の意味は価値のある目標を見出して、その達成に向けて計画し、その目標を実現することである。したがって地域デザインは地域の課題解決に向けての計画と行動であるといえよう。

地域の課題とは地方創生であり、急速な人口減少のなかで進む地域の衰退を食い止め、その活性化である。地域の活性化にはこれまで中央政府による公共投資に期待されるところが大きかったが限界に近づいており、地域の主体的な行動が必要となってきた。

DF でこれまで展開してきた企業支援、教育支援により多様な経営資源を蓄積してきた。この経営資源を地域の主体的な活性化への取り組みに効果的に提供することが地域デザイン活動の要である。

これによって企業支援、教育支援に続く3本目の柱が立ち上がりDFの社会的な存在感の向上、経営基盤の強化につながることを期待したい。



地域デザインに寄せて ～会員の声・第2弾

「地域デザイン」は私にとって具体的なイメージが湧きにくいものでした。そんな折、近くの駅の高架化工事が始まり意見交換の案内が来ましたが興味がありませんでした。でもこの「駅前をどう良くしていくか」が「小さな地域デザイン」だと気付きました。機会を見て参加し「地域デザイン」を実感することから始めようと思っています。 山形徳光（1434）

地域デザイン...地域が「自らの価値」を増大させ、それを発信することが大切で、地域が活動の主体であり熱い思いを持っていることが前提であろう。その前提で、DF が地域にインボルブされるだけの「価値提供をできる何かがあるか」だと思う。決してDFの思いを押し付けるものではないということだろう。 滝田久人（1430）

「地域」は最後に帰る、高齢になっても人と交流し助け合える場所だと思います。地域でご活躍の会員の経験を共有し、どのような過程・工夫でネットワークを築いたのか参考にしたいです。他方、ICTが発展した現在、「地域」は物理的な場所だけではないかもしれません。新たな技術で、DFらしい「地域」の新しいカタチ・関わり方を模索していただきたいです。 見目久美子（1334）

◆◆ 私の推し街 連載 ◆◆



ワインと宝石、そして晴れの街 甲府

石川 甚秀 （1195）

新宿から特急“あずさ”が笹子トンネルを抜けると急に車窓の左側が開け、その向こうに南アルプスの山なみが姿を現しブドウ畑を抜けると甲府駅に到着する。

甲斐の国の府・甲府は、戦国時代の武田信玄が思い出されるが、その後の江戸時代には幕府の直轄領として甲府勤番が置かれていた。その城の石垣が現存し天守閣跡からは南に富士山、西に南アル

プスの白根三山の景色が見渡せる。



甲府盆地と富士山
撮影 石川甚秀

日中の晴れの日が国内で一番多い市（2022年）であり、その気候の良さでの甲州ブドウからワイン製造が盛んであること、また市の北部の金峰山の一带で過去に水晶が多く産出され、その研磨、加工の技法が伝えられたことで宝飾産業が発達し、宝石の街としても知られている。

数年後にリニア新駅が設置されると東京から20分程となり、富士五湖と西の八ヶ岳山麓の北斗市、南アルプス市と連携したラウンド山梨の拠点としての再発展の期待がされる街である。



本部便り

読后感想を募集！

400字以内、ワードで編集部へメールください。締切 5月31日

牧野篤・地域デザイン総研所長著 【「ちいさな社会」を愉しく生きる】

退職後の人生に悩んでいる人に、豊かに生きるヒントを与えてくれる本。人は老いて「ちいさな社会」に戻ってゆく。空き家利用のお茶の間作り、各地の公民館の大変身などの実例を元に、高齢者がいきいき暮らす様子が語られます。DFの活動についても触れられています。

《イベントのお知らせ&報告》

・4月5~6日 相模原市民桜まつり

ふるさとづくりがテーマの市民のお祭りに、中尾誠男会員（679）ら相模の国倶楽部のメンバーが参加、DFのパンフレット配布など 市民の仲間づくり、DFの宣伝に貢献しました。

・4月9日 北関東ブロック会議 15:00~17:00 @DFスタジオ751 終了後懇親会付き

昨年からはまった地域ごとのブロック会議、第6回目は北関東に所縁のある方々が集いました。昨年4月にスタートした北陸ブロック会議では、有志によるプロジェクトが発足、能登高校へのミシン・書架の寄贈、南砺市のビジネスアイデアコンテストへの応募等の活動を行っています。

**お知らせ等の詳細はHPでご覧いただけます

<https://directforce.net/category/regional-design/>

コメント・問い合わせ先：ご意見、お問合せなど下記までお寄せください。お待ちしております

dfchiiki-tsushin@directforce.org

編集部：小島千代美・松瀬高志・宮武里美・岡田知之

第一号発行準備をする中で、「地域デザイン」はこれから会員が皆で作りあげていくものとの思いを持ちました。会員の皆さんの草の根コミュニケーションに期待します（編集後記K）